

小郡市消防団

2018.11.9発行 第25号

■発行責任者／小郡市消防団 団長 田中保夫
■発行／小郡市消防団 広報委員会

「災害から守るために…」

小郡市消防団の普段の活動を報告します！



平成30年度全国統一防火標語

消防団ってどんなところ？なにをしてる？

“消防団に入ってよかった♡”の声を集めてみました◎

第25回福岡県消防操法大会(自動車ポンプの部)のご報告

若手消防団員の本音に迫る。

消防団とわたしたち

消防団とわたしたち

広報を手にとった皆さまに、消防団についてもっと知っていただきたい。
そんな想いから、若手の消防団員に、消防団での活動について語ってもらいました。
(インタビュー協力 写真左：第一分団 溝田さん(以下、溝) 右：本部分団 門司さん(以下、門))

消防団に入ったきっかけ

——入団のきっかけは、何ですか？

溝 友人の楽しそうな消防団活動を、SNS
で見ても興味を持ちました。そこから消防
署と市役所に電話して、入団したんです。

——ものすごくアグレッシブですね！

門 門司さんはいかがですか？

私は、母の影響ですね。本部分団に母が
入っているのので、消防団をずっと身近に
感じてきました。その母の背中を追いか
けるように、入団した感じですね(笑)

——実際に、消防団ってどうですか？

溝 火災以外の災害でも活動していることが
何より意外でした。そして、団員のメリ
ハリのつけ方がすごい。普段は近所のお
じちゃん達という感じですが、災害時に
はすごい集中力と結束力を発揮する。そ
の姿が本当にカッコイイですね。

門 私もそうです。キツイ訓練も多いですが、
お祭りなどの楽しいイベントがあるとは
思いませんでした。また、勉強になるこ
とも多いですよ。女性団員の主な活動に、
応急手当の普及があります。消防署員の
方と一緒に救命講習で指導をする中で、
自分や大切な人を守るための知識を身に

つけています。そんな多くの活動をお
して、自分が地域に根付いていく感じが、
とても心地よいです。

——それも消防団の魅力の一つですよね。

門 そう思います。普段は関わることのない
方とのつながりができるのは、本当に貴
重なことだと思います。

溝 消防団でできた人とのつながりは、私の
財産です。

災害現場での活動

——実際に火災現場に出て、いかがでした
か？

溝 正直、現場の状況に圧倒されました。そ
れを何とかしようという皆さんの想いと
行動の全てが、ただただすごかったです。

——近年は風水害や地震も多いですが、被災
地での支援活動では、何が印象的でした
か？

門 地震や豪雨の被害を受けた地域へ支援
(炊き出し、ガレキの撤去など)に行っ
たときは、現地の凄惨な状況に本当に衝
撃を受けました。そんな中、炊き出し支
援で作った食事を、被災者の方に喜んで
もらえたのは本当に嬉しかったです。

溝 火災も含めた災害は、起こらないのが何
よりです。でも、もし起こってしまった
際に、少しでも皆さんの役に立てること
は、本当に嬉しいですね。経験を積んで、
より頼りになる消防団員になりたいです。

——では最後に、お二人にとって、
消防団とはどんな場所ですか。

門 楽しみながら、社会貢献できる場所です
ね。家庭、職場に次ぐ、もう一つの自分
の居場所です。

溝 小郡をもっと好きになるきっかけをくれ
た場所ですね。街やそこに住む人を守る
一員になれる、私の大切な居場所です。



小郡市消防団は7つの分団、総勢231名で構成され、地域、家族のご理解とご協力のもとに活動を行っています。

各分団には受け持ち地区があり、日頃の訓練や啓発活動以外にも積極的に地域の行事へ参加し、地域の防災力向上に努めています。

しかし、ここ数年**団員不足**が課題となっています。

消防団とは、**資格・経験・職業を問わず始められるボランティア**です。

**共に小郡を
そこに住む人たちを
守りませんか。**

新しい団員の入団を心より
お待ちしております。



	受け持ち地区		受け持ち地区
①	小郡小学校区	④	御原小学校区
②	三国小学校区	⑤	味坂小学校区
③	のぞみが丘小学校区	⑥	大原小学校区
	立石小学校区	⑦	東野小学校区

災害から守るために…

日頃から消防・警察・自衛隊と連携し、
訓練しています！



水防訓練(積み土のう)



水防訓練(炊き出し)



夜間訓練(本部)



九州北部豪雨被災地での活動

地域の行事にも
参加しています！



小学校の運動会(大縄とび)



地域のまつり(模擬店)



夜間訓練(放水)



出初式

消防団に入ってよかった～♡

自衛隊の資機材を使っでの炊き出し訓練。限られた水と時間と慣れない機材での調理は、いい経験になりました。



被災地で、この経験がいかされました！

いろんな職業の人と仲良くなり、人脈が広がります。プライベートでの交流ができ、子育てや仕事の相談もしています！



**仕事、家庭に影響なく、できる範囲の参加でOK
いつでも募集してます♡**

教わった心肺蘇生法で、倒れている人を実際に救助することができました！



消防署員と女性団員の指導のもと行われた救命講習会。AEDの使用法や心臓マッサージを練習しました。



女性消防操法大会に出場しました！
【大人の部活動】といった感じで活動しています。

第25回福岡県消防操法大会(自動車ポンプの部) 6位

平成30年7月22日、気温も雰囲気も熱く盛り上がった、第25回福岡県消防操法大会。分団の枠を越えて選手や応援の力を結集し、約6週間の訓練を経て作り上げた「小郡市消防団の操法」。この経験を今後の災害時の活動にいかしていきます！

指揮者・松井

「今年は4年に一度の全国大会とも重なり、訓練当初から指導員の熱意が伝わってくる訓練でした。結果は6位でしたが、訓練を共にする中で、仲間の成長する姿を見ることができて、とてもいい経験になりました。」



写真左より、指揮者・松井、1番員・肥山、2番員・深山、3番員・重松、4番員・米倉、控え・堤、控え・中村

小郡市消防団



- 入団資格
- 活動内容
- 任期
- 公務災害補償
- お問い合わせ

18歳以上で市内に居住、勤務、通学している男女
災害時活動・各種訓練・防災啓発等
1年～

消防活動中の負傷等に対する補償制度あり

〒838-0198 福岡県小郡市小郡255番地1
小郡市役所 経営政策部 総務課 防災安全係

TEL:0942-72-2111(内線243) <http://shobo.ogori.net/>

平成30年7月豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
皆様の安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。